

市民ワーキング開催結果報告について

アンケート調査票の修正確認と公共交通について意見交換を行うために、交通会議の市民委員 5 名に集まっていたいただきワーキングを実施した。

参加者からの主な意見は下記の通り。

日時：平成 25 年 7 月 8 日（月）13:30～15:30

場所：蒲郡市役所 4 階総務部会議室

1. アンケート調査・調査票（案）について

参加者

- ・税金投入を示すことで、後ろ向きの声が大きくなるかもしれない。
- ・地域によって意見が異なると思う。
- ・市の東部の人、バス強化はいらぬというだろう。

事務局

- ・交通空白地域の意見もとれるように、全体として意見をもらうようにしたい。

2. 公共交通に対する意見交換について

グループインタビュー形式により、事務局から下記項目について質問をすることで、意見交換を行った。

(1) 地域が抱える問題について

参加者

- ・市の東部地区は、エアポケットで公共交通がない。買い物ができる場所もなくなっている。
- ・鹿島団地も公共交通はない。市営住宅で高齢者が多い。買い物など、かなり歩いている人を見かける。
- ・商業対策については住民にも責任がある。地元の商店で買い物をするという気持ち無く、結局そうした商店は撤退してしまった。自分で自分の首を絞めたと思う。
- ・公共交通の弱者対策だけでなく、地元の商業者を育てることも一緒に考えないといけない。
- ・以前、車による移動販売があったが、無くなった。今ならできるかもしれない。いや、近所の人には買わないだろう。

(2) 名鉄について

参加者

- ・赤い電車（名鉄）の利用が増えるようにすべき。高齢者は乗り換えるのはつらいだろうけれど。

(3) バス利用について

参加者

- ・今のバスに乗ったことがあるか？
- ・市民病院に数回利用したことがある。片道 400 円、往復 800 円だった記憶があ

る。朝は5~6人程度利用していた。

- ・私はつかったことが無い。今は、あまり必要としてない。

(4) タクシーチケットの配布事業について

参加者

- ・利用者数や頻度が少ないのは、料金が安いということか。半額になれば人が増えるのだろうか。
- ・増えるだろう。(事務局：枚数制限が無いと、年間200枚使用した人がいた)
- ・車でないと行けない場所が多い。バスでは買い物は荷物をもって利用するためつらい。
- ・70歳から免許更新は厳しい。特別講習が必要である。ゴールド免許もなくなる。70歳以上の配布は、納得できる数字ではないか。

- ・枚数が無制限はおかしいと思う。

(5) ボランティア輸送(住民のボランティアによる有償運送事業)について

参加者

- ・ボランティア輸送は、何らかの免許はいらぬのか。

事務局

- ・道路運送法の事業区分による。過疎地有償運送であれば、NPO等が自家用で運送可能。浜松の事例では、安全面等を考慮して、NPOが事業主体になり、運転手は交通事業者に委託する方式もある。
- ・市議から、市東部で運転できる人を出して、ボランティア輸送を実施したらどうかという意見があった。地域の意向があれば可能ではないか。

参加者

- ・福祉有償運送はタクシー料金が2分の1では、タクシー事業者の事業がままならないのではないか。

(6) 公共交通事業に市が積極的に関与すべきか

参加者

- ・どちらにすべきかわからない。
- ・市に何とかして欲しい。
- ・市が対応すべき。
- ・今の通りでよい。
- ・交通空白地については市が対応すべき。

(7) 市の財政投入金額の拡大を行うべきか

- ・今のままで良い。このままで良い。
- ・名鉄への支援は増えるかもしれない。
- ・自家用車は便利だと思うが、自動車を維持することを考えると、タクシーの方が結果的には安いのではないか。

(8) サービス強化を行う場合、だれを・どんな目的を支援すべきか

- ・高齢者
- ・買い物・通院
- ・交通空白地の団地・高齢者も重要